

令和6年度
第4回 学校運営協議会



1月30日(木) 6年生「持久走記録会」の様子

令和7年2月14日(金)13:30～
浜松市立浜名小学校

1 日 程

授業参観	13:30～13:50	各教室
全 体 会	13:50～15:30	多目的室
連絡事項	15:30～15:40	多目的室

2 内 容

- (1) 会長あいさつ
- (2) 校長あいさつ
- (3) 議長の選出
- (4) 前回会議録の確認
- (5) 熟議

① グループワーク

	委 員	オブザーバー	学 校
課題検討部	○加藤弘明 平野岳子 渡辺東作	望月聡太 金子まなみ	山田順子
地域体験部	○野末将平 高林 正 池谷勝元	渡邊涼子 協働センター	平本智之
学校支援部	○町田幹子 北村孝義 佐々木大輔	内山益巳 松島一博 中道三枝子	伊藤 充 柴田素女枝

○本年度の教育活動・来年度に向けての改善（主幹）

○いじめ認知の状況（教頭）

○来年度の経営方針（校長） 仮承認

○学校運営協議会の反省（教頭）

② 部別報告

③ 全体協議

(6) その他

① 夢育やらまいか事業・CS加算分報告（教頭）

② 運営協議会委員の交代について（教頭）

※ 来年度の学校運営協議会の予定

- ・ 第1回学校運営協議会 令和7年4月22日(火) 13:40～（予定）
- ・ 第2回学校運営協議会 令和7年9月10日(水) 13:40～（予定）
- ・ 第3回学校運営協議会 令和7年12月12日(金) 13:40～（予定）
- ・ 第4回学校運営協議会 令和8年2月10日(火) 13:40～（予定）

令和6年度 第3回 浜名小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年12月13日（金）（13時40分から14時00分まで授業参観）
14時00分から15時40分まで
- 2 開催場所 浜名小学校 多目的室
- 3 出席委員 加藤弘明、平野岳子、高林 正、佐々木大輔
池谷勝元、町田幹子
- 4 欠席委員 渡辺東作、野末将平、北村孝義
- 5 オブザーバー 松島一博、内山益巳、中道三枝子、井田正人（浜名協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター
金子まなみ、渡邊涼子
- 7 学 校 山田順子（校長）、伊藤 充（教頭）、平本智之（主幹教諭）
柴田素女枝（CS ディレクター）
- 8 教育委員会 なし
- 9 傍 聴 者 1名
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 柴田素女枝
- 11 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、高林委員から会長を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

（1）2学期の学校評価について

（2）いじめ認知の状況について

（3）部別協議

旗振りと危険な場所について

- ・課題検討部（加藤、平野、金子、校長）
- ・地域体験部（高林、池谷、渡邊、井田、主幹教諭）
- ・学校支援部（町田、佐々木、内山、松島、中道、教頭、CS ディレクター）

（4）各部報告・全体協議

（5）その他

①学校評価記入について

13 会議記録

会長から委員総数9名のうち6名の出席があり、過半数に達するため会議が成立している旨の報告があった。

（1）主幹教諭から2学期の学校評価について別紙資料P5～12に基づき説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）教頭からいじめ認知の状況について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・同級生同士のいじめが多いのか。（加藤委員）
- ・「いじめ」とはどの程度のものを指しているのか。（内山オブザーバー）

- ・関係児童の保護者とは共有しているのか。(松島オブザーバー)
- ・いじめられた側とやった側の認識の違いはどうするのか。(加藤委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 部別協議

(4) 各部報告・全体会議

○課題検討部（平野委員）

- ・本校の安全パトロール隊は100名を超える登録数はあるが地域差、高齢化が進んで毎日参加するのは大変になっているなど問題が出てきている。
- ・手厚い地区、手薄な地区が出来ている。自分の地区だけでなく、そこを通過する別の地区の子も含めて足りない所はどこかなど課題をはっきりさせて、解決していく必要がある。

○地域体験部（渡邊コーディネーター）

- ・子供会に入らないと通学班に入れない地区がある。登校時の安全を守るためにも集団登校を続けたいので、そこは折り合いをつけて欲しい。
- ・登校時、下を向いて歩く子供が多いのが気になる。班の子同士が仲良くなるために子供会のイベントなど班ごとにやるなどの機会を作ってはどうか。
- ・下校時の見守り対策を考えていく必要がある。

○学校支援部（教頭）

- ・子供会に入りたくない保護者の多くが旗振り当番を嫌がっている。旗振りができないなら旗振り以外の協力できることをいくつか用意しその中から選択することによって、子供会や通学班に入ってもらいたい。
- ・保護者で出来ないなら、自分たちで代わりにやっていただける方を探し頼んではどうか。
- ・PTA活動や子供会に参加しない保護者をどうするか考えていかななくてはならない。
- ・地域独自の旗振り、安パトの方が行っている場所、危険な箇所などの情報をしっかり収集し課題などを発信していかなければならない。

○全体協議

- ・来年度の「交通安全リーダーと語る会」には6年生・安パト・PTA・地区役員の方が出席するのでその時に地域の情報を集めてはどうか。(町田委員)
- ・安パトの方には今年度の最後に来年度も継続の意思があるのかアンケートをとるので、その時に旗振りを行っている場所を記入してもらい情報を収集する予定。(教頭)

(5) その他

- ・平野委員より来年度から浜松市全学校の体育館にスポットクーラーを各校2台ずつ設置することになった。特別教室のクーラーの設置も順次来年度から始まる旨の報告があった。また、尾島の船場橋の拡張または歩道専用の橋の設置、また、源之山橋付近の歩道が途切れている箇所の歩道を伸ばすように来年度の予算に入るようにしていきたいと発言があった。
- ・司会から次回学校運営協議会の時に自己評価表の記入のお願いがあった。
- ・司会から次回第4回の会議の予定は、令和7年2月14日（金）に多目的室で開催する旨の説明があった。内容は、来年度の教育方針について話し合う旨の説明があった。

第4次浜松市教育総合計画 体系図

《2025（令和7）年度～2034（令和16）年度》

社会情勢・国の教育の動向

- ・アフターコロナ ・ VUCAの時代
- ・少子化・人口減少 ・グローバル化の進展
- ・デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展
- ・第4期教育振興基本計画(令和5～令和9年度)
- ・令和の日本型学校教育 ・ 子どもの基本法の施行 など

第3次浜松市教育総合計画の成果・課題

- キャリア教育を核とした人づくりの推進(全市展開)
- ICT教育環境の充実やIoT活用能力、情報モラル意識の向上
- 支援を必要とする児童生徒への支援充実(発達支援学級等の拡充)
- スクールカウンセラーなど専門人材による相談体制の充実
- コミュニティ・スクールの導入(市立小中学校全校)
- 支援を必要とする児童生徒の増加への対応(多様な学びの場の確保等)
- ICTを活用した学び、支援の充実
- 学校施設の老朽化対策と新たな学びを実現するための一体的整備
- 学校における働き方改革の更なる推進(校務DX等) など

基本理念

描く夢や未来の実現

主体性

物事を自分事として
とらえ、目の前の課題
の解決や、描く未来
の実現に向けて粘り
強く取り組む

多様性・包摂性

一人一人の自分らしさを
認め、互いを尊重しあい
ながら、誰もが活躍できる
環境を実現していく

信頼・協働

それぞれの立場の人が、
人や組織に信頼を置き、
協働したり、相互に作用
したりして、よりよい
関係性を構築していく



目指す子どもの姿【自分らしさ・他者との協働・自己調整】

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できることも
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

目指す教職員の姿

- 子どもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

関連する個別計画等

浜松市総合計画

浜松市教育推進大綱

浜松市生涯学習推進大綱

浜松市文化振興ビジョン

浜松市子ども計画

浜松市スポーツ推進計画

浜松市文化財保存活用地域計画

浜松市子供読書活動推進計画 など

方針Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり

政策1 未来の創り手に求められる力の育成

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな心身の育成
- 4 グローカル人材の育成
- 5 情報活用能力の育成
- 6 持続可能な社会・地域の形成に参画する態度の育成
- 7 育ちや学びをつなぐ教育の推進

方針Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり

政策3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

- 1 志ある優れた教職員の確保
- 2 専門性を有する質の高い教職員の育成
- 3 多様な支援スタッフの配置
- 4 教職員がいきいきと働ける環境の整備

政策4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

- 1 新しい時代の学びを実現する学校施設等の整備
- 2 学校安全の推進
- 3 中山間地域等における教育環境の向上
- 4 学びの機会確保に向けた支援
- 5 いじめの問題への対応

方針Ⅲ こどもの学びや育ちを支える

政策5 多様な人材・主体との連携・協働

- 1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 2 魅力ある地域人材や団体等との連携
- 3 家庭教育支援の推進
- 4 放課後の居場所づくり

教育DXの推進

教育データの利活用

令和7年度 浜名小学校 グランドデザイン（案）

国の施策

第4期教育振興基本計画

- グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- 誰一人取り残さず、すべての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

はままつの教育

第4次浜松市教育総合計画

【基本理念】描く夢や未来の実現

主体性・多様性・包摂性・信頼・協働

<めざすこどもの姿>

- ・自分らしさを大切にすることも
- ・他者と協働し、主体的に行動できることも
- ・自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

浜名中学校区で目指す子供の姿

節度と思いやりのある浜名の子
～挨拶で広がる笑顔と思いやり～

子供の実態

- ・明るく素直 まじめに取り組む
- ・学ぶ意欲が高く、主体的に交流活動に取り組める児童が多い
- ・行事に対し、目標をもって前向きに取り組める児童が多いが、自信をもって行動する力が弱い、粘り強く取り組む力が弱い児童も少なくない
- ・集団での生活や学習に適応できない児童の表われが様々

学校教育目標

豊かな自分を創り出す子

学校経営目標「**はりきって まい日通い なかまと学ぶ**」学校

やる気いっぱい(知)

- ・学び方・学習習慣が身に付くよう、見通しがもてるしかけをする
- ・自分の考えをもつ時間と、友達と学び合う時間を確保する
- ・「できた」「分かった」喜びを実感できるような自己評価・相互評価・教師評価を工夫する

やさしさいっぱい(徳)

- ・「はマナー」を生活の中で継続して意識させる
さわやかあいさつ 廊下歩行
誰も一人ぼっちにしない
- ・どの子にも居場所があり、活躍する場がある学級・学年集団をつくる
- ・自信をもって自分らしさを発揮できるよう前始末をする
- ・いじめ・問題行動への迅速かつチームとしての対応

力いっぱい(体)

- ・健康な生活習慣の確立を目指した保健指導を継続する
- ・子供が自分なりの目標をもって運動に取り組めるよう体育科授業の工夫し、外遊びを奨励する
- ・生活の中で見通しをもって粘り強く取り組むことをしかけ、継続して認め励ます。

ICTの効果的な活用

特別活動を要としたキャリア教育の推進

みつめる力

ふかめる力

かかわる力

つなげる力

心理的安全性を確保した学級・職員組織

それぞれの
ウェルビーイングの
実現

開かれた学校・開かれた教育課程

<家庭との連携>

- ・家庭学習の充実
- ・PTA活動
- ・参観会・懇談会等
- ・教育相談の充実（三者面談・SC・SSWの活用）

浜名小
学校運営協議会

<地域との連携>

- ・ふるさと（地域）から学ぶ
- ・学校だより・ホームページで発信
- ・学習ボランティア等の活用
- ・安パト等 自治会・健全育成会との連携

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立浜名小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

○PTAとも連携し保護者の参加やボランティアの拡大を目指したい。
○情報発信の方法を工夫し、より多くの方に協議会の取り組みを知ってもらえるようにしていきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立浜名小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- OPTAとも連携し保護者の参加やボランティアの拡大を目指したい。
- 学校の教育活動がより充実するよう、来年度も協議会として学校へ意見を伝えていきたい。
- もっと協議会の活動について周知を図る。
- 少しずつでも子供たちの様子を見られるように。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長からの学校運営の基本方針の中で分からない語句があった。それに対して、委員から多くの質問が出て、「分からないままにしない」、「より理解しようとする」という思いで取り組むことができています。
- 話し合いの方法を工夫し、より協議会として学校経営方針に沿った活動に取り組めるようにしていきたい。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 委員として授業を参観したり、学校の話を知ったりする中で、地域資源の積極的な活用やタブレットを使った学習などを進めていることがよく分かった。どのような人材が有効であるか、これから協議会の中で話し合っていく必要性を感じている。
- 学校の困りごとを聞けることで、協議会として取り組めること（学びの教室の支援、校内整備など）に必要な人材を呼びかけることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校ホームページやさくら連絡網によって、協議会の内容や取り組みについて伝えることができています。
- より多くの方に知ってもらうために、地域での情報発信の場を増やしていく必要がある。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- OPTAとも連携し保護者の参加やボランティアの拡大を目指したい。
- 情報発信の方法を工夫し、より多くの方に協議会の取り組みを知ってもらえるようにしていきたい。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

(様式 1)

令和 6 年 5 月 2 日

浜松市立浜名小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 野末 将平 様

浜松市立浜名小学校運営協議会
会長 加藤 弘明

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和 6 年 5 月 2 日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 安全・安心を高めるために、交通安全パトロールボランティアの活動のためのベストや帽子、指導用横断旗を購入し、ボランティアに配布していただきたい。挨拶運動を含め、子供たちが安心して登下校することができるよう学校運営協議会としても支援していく。
- ② これからの変化の激しい世の中を生きていく子供たちに、自分に自信をもち、他を大切にすることができるようになってほしい。
⇒仕事や夢をもって取り組んでいる方を講師で招き、その生き方や考え方に触れる機会を設ける。

安全パトロールボランティアのため、帽子の購入に 40,700 円
6 年生の職業講話のため、謝礼として 31,178 円
合計 71,878 円を使用。
加算分の 60,000 円を使って、支出した。